

日米経済の行方 馬淵さんが展望

だいしん経済ク講演会

大垣西濃信用金庫の取引先でつくるだいしん経済クラブの経済講演会が、大垣市内のホテルであり、日本金融経済研究所代表理事で経済アナリストの馬淵磨理子さんが講演、会員ら約220人が聴き入った。

馬淵さんは「アフターコロナで経営者に必要な日本経済の読み解き方と企業の取るべき戦略」をテーマに講演。日米経済を展望し、為替や株価について持論を語った。

人的資本やリスク管理の重要性を訴えたほか、国連が掲げる持続可能な開発目

標(SDGs)やデジタルトランスフォーメーション(DX)などに積極的に取り組むことが付加価値になると強調。「しっかり発信までやると、資金調達できたり消費者の信頼を得た



中小企業が取り組むべきポイントなどを語った馬淵磨理子さん
＝大垣市万石、大垣フォーラムホテル

り、若い世代が働こうと思ったりとプラス効果がたくさんある」と説いた。